

◆日 程◆

令和6年 6月15日(土) ①女子個人 ②男子個人

開場・受付 7:30 監督会議 8:20 開始式 8:40

(竹刀検量 7:30~8:20 男女ともかりがね体育館)

競技開始 9:00 終了式 15:20 解散 15:45

令和6年 6月22日(土) ①女子団体予選リーグ ②男子団体予選リーグ

開場・受付 7:30 監督会議 8:20 開始式 8:40

(竹刀検量 7:30~8:20 男女ともかりがね体育館)

競技開始 9:00 終了式 16:20 解散 16:30

令和6年 6月23日(日) 団体決勝トーナメント

開場 8:00 監督会議 8:50 開始式 9:10

競技開始 9:20 終了式 11:40 解散 12:00

◆開始式次第◆

1. 開式の言葉 (進行)
2. 優勝校紹介 (男子 松代中学校 女子 松代中学校)
3. あいさつ (本部長)
4. 競技上の注意 (審判長)
5. 選手宣誓 (男子 松代中学校 女子 川中島中学校)
6. 諸連絡 (事務局)
7. 閉式の言葉 (進行)

◆終了式次第◆ ※参加できる選手のみ

1. 開式の言葉 (進行)
2. 成績発表 (事務局)
3. 表彰 (本部長)
4. あいさつ (本部長)
5. 諸連絡 (事務局)
6. 閉式の言葉 (進行)

◆連絡事項◆

1. 受付で参加費(登録人数×500円)と《様式2》《様式3》を提出してください。
2. 団体戦登録選手変更は当日認めます。試合中の選手変更は審判長、審判主任に申し出てください。
3. 貴重品等の管理は各校で責任をもって行ってください。
4. ゴミはすべて持ち帰るようお願いいたします。また、会場・駐車場について別紙をご確認ください。
5. 県大会出場権を得た学校の監督は終了式後大会本部にお集まりください。
6. 選手、応援生徒、保護者のマナー向上について、各校指導をお願いいたします。

----- 競技規則 -----

1. 競技種目 競技は、団体戦、個人戦とする。
2. 出場制限 個人戦への出場は各校（各団体）男女それぞれ7名以内とする。
3. チーム編成 1チームは男・女とも監督1名、選手5名、補員2名以内とする。
4. 競技方法 個人戦は、トーナメント戦。団体戦は、予選リーグ・決勝トーナメント。
5. 勝 敗 試合時間3分3本勝負とし、団体戦の延長戦は行わない。個人戦は上位32名の選手が決定するまでは2分間の延長の後、判定とする。上位32名決定以降は勝負が決するまで2分間の延長戦を繰り返し行う。延長戦は2回ごとに小休止（その場）と大休止（面を外す）を交互に挟む。
リーグ戦では、勝チームに1点、引き分けは0.5点を与え①勝点②勝者数③取得本数で順位を決める。同点の場合のみ1本勝負で代表戦を行なう。（3・4位の決定は行わない）
トーナメント戦では、①勝者数②総本数で勝敗を決める。決まらない場合代表戦を行なう。
代表戦は、3分1本勝負とし、勝負が決するまで2分間の延長戦を繰り返し行う。延長戦は2回ごとに小休止（その場）と休憩5分（面を外しての給水）を交互に挟む。
6. 選手宣誓 新人戦優勝チームの代表者が行う。
7. 表彰 団体戦及び個人戦は男女ともに4位まで表彰する。
本大会の男女団体各上位4校、男女個人各上位8名までに県大会出場権が与えられる。
（7月20日、21日 佐久市 長野県立武道館）

----- 北信中学校体育連盟剣道専門委員会申し合わせ事項 -----

1. 全日本剣道連盟試合・審判規則、同細則、令和6年度日本中学校体育連盟剣道競技部申し合わせ事項に準じた本大会申し合わせ事項をもとに行う。
2. 紅白の目印(5×70cm)は各校で準備する。番号の早いチーム（個人）を赤とする。
3. 団体戦の補員は欠員の出た位置へ出場する。選手変更は審判長（又は競技委員長）に申し出る。一度退場した者は最後まで復帰できない。オーダーの変更は認めない。
4. 竹刀は計量検印をうけたものを使用する。検印のないものを使用した場合は、相手の2本勝ちとする。また、異物を入れたもの、テープを巻いたものなどの不正竹刀を使用した場合も同様とする。竹刀の柄革に学校名、氏名を記入する。記名のないものは不合格となる。
5. 竹刀の長さは3.7尺(114cm)以内、重さは男子440g以上、女子400g以上、先革の太さは男子25mm以上、女子24mm以上で、長さ5cm以上とする。ちくとう部（竹刀先端より8.0センチメートルのちくとう対角最小直径）の太さは男子20mm以上、女子19mm以上とする。
6. 竹刀のつばは直径9cm以下、茶色又は革色を使う。柄革に滑り止めのあるものは禁止する。
7. 垂名札には校名（団体名）と姓を入れる。同姓の場合は名前の一文字を入れる。ついていない選手の出場は認めない。
8. 試合途中での医療行為は治療必要の判断から5分間以内とし、それ以降は不戦負けとする。
9. 選手が転倒した場合は一呼吸おいて「止め」をかける。危険な場合には直ちに止める。
10. 突き技は禁止とし、反則とすることもある。片手技は有効としない。
11. 面ひもの長さは結び目よりさがりが40cm以内とする。
12. 試合前に円陣を組むこと、選手交替の際の胴突き等の行動はしてはいけない。
13. 応援は声を出さず拍手を基本とする。審判に故意に強要するようなことはしない。
14. 試合場への時計およびストップウォッチの持ち込みを禁止する。
15. 団体戦は3名以上で出場を認める。3名の場合には次鋒、副将を欠員にする。4名の場合には次鋒を欠員とする。
16. 個人戦で試合が続く場合は、3分間の休息時間をとることができる。
17. 装飾及び刺繍は、大きさ・色・模様を含めて華美にならないようにする。
面乳革の色は黒・紺とする。